

信篤(SHINTOKU)

いちかわ

市川市議会議員 松永おさみ

後援会だより 第25号

事務所/原木1-22-16 電話・FAX 047-327-1470

www.matsunaga-o.net

12月
議会

被害農家の救済を訴える 温浴施設・幼児教育を買す!

市川市議会十二月定例会が、十一月二十八日から十二月十三日迄の会期十六日間、並びに開催されました。市長から提案された議案は、公共の施設における暴力団排除のための条例制定をはじめ十四議案と報告三件です。審議の結果全議案とも原案の通り可決となりました。この内、来年の夏迄に全小中学校に九六一台のエアコンを設置する補正予算へ債務負担十三年間で総額三十一億余円と保育団の民間委託として欠真間・宮久保・市川南の三園が四月から実施されることになりました。

今議会では、現在建設中の市川南口再開発ビルの鉄筋不足関連で九名が、地方卸売市場内の業者倒産問題で四名の議員が質問したこと、総数三十五名の議員が一般質問するなど特色ある定例会でありました。そして、松永おさみ市議は、十二月六日に一般質問を行い、市当局の考え方を質しましたので、以下その概要をお知らせ致します。

謹賀新年



皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。松永おさみは、昨年の選挙で皆様の絶大なご支援により再選させていただきました。改選を機に、お礼を申し上げます。また、ご質問にお答えする機会をもち、お礼を申し上げます。改選を機に、お礼を申し上げます。また、ご質問にお答えする機会をもち、お礼を申し上げます。また、ご質問にお答えする機会をもち、お礼を申し上げます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。松永おさみは、昨年の選挙で皆様の絶大なご支援により再選させていただきました。改選を機に、お礼を申し上げます。また、ご質問にお答えする機会をもち、お礼を申し上げます。また、ご質問にお答えする機会をもち、お礼を申し上げます。

卸売業者の倒産問題について!

(地方卸売市場内)

質問「昭和四十七年の開設当初から、市場内で営業していた京市青果(株)が十月末倒産した。債権者は県内外で約三百二十名で、市内の農家は約七十軒が被害を蒙り、その債権額は一億二千八百万円と公表された。開設者である市川市の行政責任をどう考えているのか。業績が悪化した原因は」

答弁「売場面積の縮小、人件費の削減等コスト削減に取組んだ。生産地への買い付けにも努力するなど取組んだ。着手の時期が遅れたこと、株主の協力や新たな資金提供が受けられなかったことが、経営の建て直しが出来なかった原因ではないかと考えている。

質問「被害を受けた農家に対する損害補てんと支援策は」

答弁「市は、その損害を賠償する責任を負わないと考えている。今回の自己破産により影響を受けた生産者に対する対応として、J A市川においては、農業融資の資金として、救済のための低金利融資制度を新たに設けている。又、農林漁業金融公庫による農業セーフティネット資金融資制度もある。市内農家への支援策としては、経営安定化の資金融資に対する利子補給制度の創設を検討していく。

※質疑応答の中で、一三年前から経営に陰りが見えていたにも拘らず、一切情報が開示されなかったことへの農家の怒りを訴え、一県の対応が見えてこない。京市の社長は所在不明で一切の説明を行わず、今回の詐欺同然の責任を開設者である市の責任と併せて追求しました。今後の推移を見守り、対処する必要を痛感しております。

市川に社会保険事務所開設

年金の記録問題をはじめ、一連の不祥事に対処するため、三月三日から市川駅北口の「明治安田生命市川ビル」の三階に開設。市川一三三十八。電話番号は未定、市川駅より徒歩四分。

クリーンスパ市川の改善策について

質問「入浴、プール、駐車場の時間制限を撤廃できないか」

答弁「当分の間は、現状の利用方法でこれを周知することに努め、その推移を見守りたい」

質問「内湯に温泉を利用すべきと考えがどうか」

答弁「開設されて間もない施設で、年間を通じての利用動向も把握されていないので、その推移を見守りながら、市と事業者で協議検討をする」

質問「使い勝手のいい施設とするために、①露天風呂に屋根を、②休憩場所を目隠しの街立を、③腰を掛けて休めるソファを増やすこと、④現場周辺に案内標識が無いが設置しないのか、⑤利用料金が高いとよくいわれるが」

答弁「利用者の声を受け、改善した事例としては、バスルートの見直し・大広間での休憩場所の確保など。検討課題としては、温水便所の設置、案内看板の増設。質問の①②③については継続的に協議検討していく。⑤については近くの類似施設の点は協議の場に出していく」

※利用者数の推移
九月 二三、三七二人 十月 一五、四四七人
一月 一三、六二四人で合計八十一日間で五二、四
四三人 一日平均では、六四七人となっています

幼稚園教育の振興充実策について

質問「公立と私立幼稚園の格差解消策は」

答弁「本年度での差は、公立の保育料が月一万円、私立では平均で二一、二〇〇円につき、年額では一三四、四〇〇円となる。公立、私立に使われている公費は、公立では一人当り年額三十二万円、私立では、市と市から各種補助金があり、平均数値で二百人規模の園で換算すると一人あたり一五二、五〇〇円となり、保護者には園児補助金もあり、公費の使われ方においては、余り格差はない状況である」

質問「私立幼稚園協会から出された新年度予算要望のうち①園児補助金の三万二千元を大幅に引上げる考えは②各

幼稚園の施設の改修・改善費の増額と幼稚園協会の研究事業や育児相談、広報活動に対する補助の拡充は③各

幼稚園については、要望が強くあるのので拡充に努力する、

質問「市幼児教育振興審議会から出た答申で、就園率の低い三園の今後の在り方、方向性の検討結果は」

答弁「公立幼稚園の役割を明確化していくべきと考える、又余給施設の活用をはっきりさせる必要がある。今後市川市の幼児教育がどうあるべきか現在審議中である。が、早期に条件が整い次第設置することを強く要望した。なお、本年四月高谷中には設置される予定」

道路交通行政について

質問「H・Cコーナン周辺における歩行者、自転車利用者の交通安全対策を施して欲しい」

答弁「十九年九月に死亡事故が発生したことを重く受け止め、警察と合同現地診断を行なった。事故発生後に、道路線形の外側線や速度落とせの表示、注意看板設置は〇

K、照明灯の照度アップを行い、横断歩道や信号機の設置についても今後協議していく」

質問「二保架道橋北側道路新設の進捗状況は」

答弁「説明会の結果、道路の必要性については概ね理解を得ているが、用地の減少及び抵触建築物の関係で調整が難航しているが、自治会等と相談し取組んでいきたい」

外環道の工事―いよいよ着工！

田尻、高谷間の約三KMが、平成二十年度内の部分開通に向け、年明け早々に工事が始まります。国交省の説明では、整備は用地の取得状況に応じて行なう暫定的なものですが、一般部二車線（国道二九八号）とサービスマニ道路、自転車・歩行者道を整備することの開通すると、周辺住宅地内や行徳街道などの交通環境の改善が図れるものと期待され、早期完成が待たれます。問合せ先 国交省首都圏道事務所 電話 三六二―四一―四